

地域情報化アドバイザープロフィール

ふりがな	かつ しんいちろう	
氏名	勝 眞一郎	
所属・役職	サイバー大学IT総合学部 教授 NPO法人離島経済新聞社 理事	
活動拠点	鹿児島県 奄美市、神奈川県 藤沢市	
略歴	1964年生まれ。機械製造業に18年勤務し、モノづくりの現場で、経営、設計、製造、物流、情報システムをグローバルな舞台で実践。情報システム部門のトップを勤めてきた経験から、実践的なプロジェクトマネジメントを社会人、学生向けに伝授している。業務コンサルティングのバローレ総合研究所では、経営目標の立案から現場改善を行なっている。	
地域情報化の 専門分野・技術	<p>以下の一連のプロセスを通して監修可能。1つのプロセスのみでも成果を確実に出す。</p> <ol style="list-style-type: none"> ① 現状分析とゴール設定（数値化）：ワークショップ、課題の構造化 ② 実行計画策定→必要に応じ IT も使った提案 ③ 実行手順書と効果測定（KPI 測定） ④ 改善計画と人材育成 	
自治体向け メッセージ	自治体の総合計画立案、KPI の設定、庁員の企画力研修など行なっています。ピンポイントでなく、地域課題の抽出、実施計画の策定、効果測定まで庁員、地域住民と一体となってフォローアップします。	
関連URL	http://www.cyber-u.ac.jp/faculty/teacher/katsu_shinichiro.html http://www.amami-freelance.com/	

<p>地域情報化 に関する実績</p>	<p>これまでの経験業務・研究活動</p>
	<p>1. 新たな社会のあり方への挑戦-定住自立圏研究所設立にあたって 単著 2010年3月 サイバー大学 『サイバー大学紀要』第2号 pp.85-87</p> <p>2. 地域特性に対応した定住自立圏モデルの基盤構築 単著 2011年3月 サイバー大学 『サイバー大学紀要』第3号 pp.105-108</p> <p>3. 奄美群島の地域活性化に向けた取り組み 単著 2012年3月 サイバー大学 『サイバー大学紀要』第4号 pp.27-33</p> <p>4. 災害復旧・復興支援・対策に関するICTプロジェクトの実態と今後の課題 単著 2012年3月 サイバー大学 『サイバー大学紀要』第4号 pp.54-63</p> <p>5. IT系企業で盛り上がる奄美大島の奇跡 研究発表 2013年7月 シンポジウム『地域を変える力～情報技術による島の振興～』（鹿児島大学）</p> <p>6. 奄美群島における遠隔教育の普及・啓発 単著 2014年9月 サイバー大学 『eラーニング研究』第3号 pp.15-22</p> <p>7. 沖縄県離島の小中学校におけるオンライン型 eラーニングによる教育格差是正への取り組み 単著 2015年9月 サイバー大学 『eラーニング研究』第4号 pp.27-32</p>
	<p>これまでに関与した地域情報化に関するプロジェクト</p> <ul style="list-style-type: none"> ・鹿児島県奄美市：奄美市の地域情報化計画立案、IT企業誘致・育成、フリーランス支援 ・長崎県五島市：五島市の官民連携地域情報メディアの立ち上げ支援 ・宮崎県日南市：日南市の地域情報メディアの立ち上げ支援 ・鹿児島県指宿市：移住促進のためのフリーランス支援策立案支援